

福岡市文化財保存活用地域計画策定協議会 委員一覧

資料 1

(令和4年10月26日開催)

【委員】

(敬称略・五十音順)

氏名	現職名	備考
有馬 学	福岡市博物館総館長・福岡市史編集委員長	
石蔵 利憲	石蔵酒造株式会社 専務取締役 (登録文化財所有者)	
佐伯 弘次	九州大学名誉教授	
辻田 淳一郎	九州大学大学院准教授 (人文科学研究院・歴史学部門)	欠席
徳永 美紗	Code for Fukuoka代表	
西村 真規子	株式会社コングレ 九州支社長	
三笥 雄一	福岡商工会議所 地域振興部長	
箕浦 永子	九州大学大学院助教 (人間環境学研究院・都市・建築学部門)	
山下 永子	九州産業大学教授 (地域共創学部・地域づくり学科)	

【オブザーバー】

杉原 敏之 福岡県教育庁総務部文化財保護課 参事補佐兼企画・埋蔵文化財係長

【事務局】

吉田 宏幸 経済観光文化局 理事

川口 英仁 経済観光文化局 文化財活用部長

一ノ瀬 明子 経済観光文化局 文化財活用部 文化財活用課長

比佐 陽一郎 経済観光文化局 文化財活用部 文化財活用課 歴史資源活用係長

福藺 美由紀 経済観光文化局 文化財活用部 文化財活用課 歴史資源活用係

【関係課・WG】

杉山 未菜子 経済観光文化局 博物館 運営課長

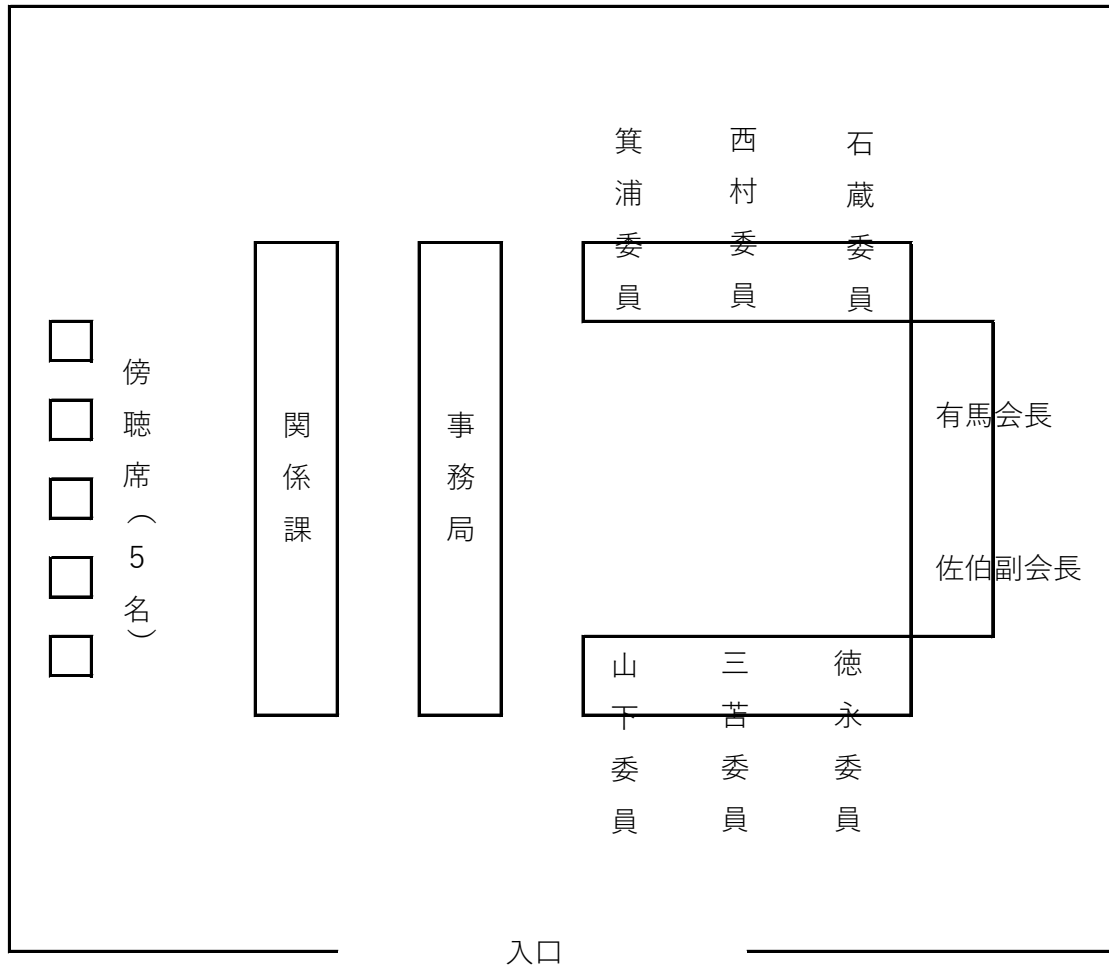
中村 啓太郎 経済観光文化局 文化財活用部 史跡整備活用課 鴻臚館跡整備係長

森本 幹彦 経済観光文化局 文化財活用部 埋蔵文化財課 主任文化財主事

小野 勉 経済観光文化局 観光コンベンション部 地域観光推進課 歴史文化連携係長

令和4年度第1回地域計画策定協議会 座席表

2022年10月26日（水）14:00～16:00@福岡市博物館多目的研修室



福岡市文化財保存活用地域計画策定協議会に関する要綱

(設置)

第 1 条 福岡市文化財保存活用地域計画（以下「地域計画」という）の策定を円滑かつ効果的に推進していくため、福岡市文化財保存活用地域計画策定協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議会の目的)

第 2 条 協議会では、前条の目的を達成するため、地域計画の策定について委員からの意見を収集する。

(委員)

第 3 条 協議会の委員は、別表に掲げる者とし、福岡市長が選任する。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 協議会では、委員の互選により、会長を選任する。

2 副会長は、会長が指名する。

3 会長は、協議会を主宰する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(協議会)

第 6 条 協議会は、市長が開催する。なお、会長が必要と認めるとき、オンライン会議や書面会議の開催ができる。

(守秘義務)

第 7 条 委員は、その職務に関して知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(情報公開)

第 8 条 協議会は、公開とする。ただし、協議会が福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第 3 号）第38条ただし書の規定に該当するときは、非公開とすることができる。

(補則)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この要綱は、令和 2 年 1 1 月 1 日から施行する。

(別表)

氏名	役職名
有馬 学	福岡市博物館総館長・福岡市史編集委員長
佐伯 弘次	九州大学大学院教授（人文科学研究院・歴史学部門）
山下 永子	九州産業大学教授（地域共創学部・地域づくり学科）
辻田 淳一郎	九州大学大学院准教授（人文科学研究院・歴史学部門）
箕浦 永子	九州大学大学院助教（人間環境学研究院・都市・建築学部門）
西村 真規子	株式会社コングレ九州支社長
三笥 雄一	福岡商工会議所地域振興部長
石蔵 利憲	石蔵酒造株式会社専務取締役・登録文化財所有者
徳永 美紗	Code for Fukuoka代表

福岡市文化財保存活用地域計画 重点施策の進め方（案）

重点施策「知る」

施策	内容	取組主体	関連主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	5ヵ年の最終目標	
重点施策1 調査研究											
1-① 発掘調査体制の充実											
		行政			企業等						
	調査・整理報告にかかる業務の効率化・体制の見直し	埋蔵文化財課		市費	本市版の調査基準 (整理報告含む) の検討	調査基準策定	体制整備	→		本市版の調査基準の運用 (そのための体制整備)	
	遺跡情報の記録作成のデジタル化	埋蔵文化財課 埋蔵文化財センター		市費	部内での検討 と情報収集	同上	体制整備	→		発掘調査(整理報告含む) におけるデジタル技術の推 進	
					遺構・遺物3D撮 影						
1-② 寺社資料調査の推進											
		行政			文化財の所有者等 大学等教育研究機関						
	調査	文化財活用課 (博物館/美術館/図書 館)		市費 国補	第4期調査開始	→	第4期調査報告	→	第5期調査開始	→	第4期調査報告完了 第5期調査開始
	調査成果の活用	文化財活用課		市費	状況把握・既存 データ整理	→	順次公開	→			
博物館			市費	調査成果の公開 (展示)方法の検 討							
美術館 図書館			市費	調査協力							
1-③ 文化財データベースの構築											
		行政			文化財の所有者等						
	紙媒体の資料のデータ化	文化財活用課 図書館		市費	現状整理・デー タ化資料選別	順次データ化	順次DB掲載・公 開	→		→	データ化&登録の流れを作 る
		埋蔵文化財センター (埋蔵文化財課)		市費	台帳のデータ化			→			
		博物館		市費	既存収蔵品目録の DB公開	→	新規収集資料の DB登録・公開	→			
	公開・利用に関するルールの検討 統一的なプラットフォームに集約	文化財活用課(博物館/ 美術館/図書館)		市費	WGでの検討	→	順次公開	→		→	統一的なプラットフォーム への集約、運用開始

重点施策「守る」

施策	内容	取組主体	関連主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標
重点施 保存管理										
2-①	歴史的建造物等の保存・継承	行政 文化財の所有者等	行政							
	制度・補助等の助言、技術者の紹介 保存と活用に関わる人々の連携支援	文化財活用課		市費	長期計画策定・ 実施体制構築	実施				歴史的建造物の適切な 保存
2-②	史跡の持続可能な管理	行政 文化財の所有者等	地域コミュニティ 文化財関連団体							
	各史跡の整備・活用に応じた管理の在り方検討 財源や人材の確保	文化財活用課 (史跡整備活用課)		市費	長期保全計画見 直し					管理が行いやすい史跡 の環境整備を目指す
					樹木環境整備					
2-③	文化財を未来へ継承するための保存管理体制の充実	行政	-							
	収蔵品を適正に保管できる体制の確保	埋蔵文化財センター 博物館 図書館		国補 市費	月限の収蔵棚増 設 収蔵機能増設の 検討・実施					
	埋蔵文化財センター再整備	埋蔵文化財センター (埋蔵文化財課)		市債	(R4年度着工)					R10年度完成予定
2-④	災害等への対策の強化	行政	文化財の所有者等							
	災害対応マニュアルの策定	文化財活用課/博物館/ 美術館/図書館/埋蔵文 化財センター/埋蔵文 化財課/史跡整備活用課	文化財の所有者等	市費	(R4からWGで の検討) 作成	適宜更新(中身 の充実) 広報普及				文化財防災マニュアル の作成・配布
	建造物の防火対策	文化財活用課 史跡整備活用課		市費 市費	長期計画策定・ 実施体制構築 福岡城跡防火設 備改修	実施 防災マニュアル 検討			策定(予定)	歴史的建造物の適切な 保存
	市所有指定文化財の防火設備の整備	文化財活用課		市費	消防設備点検結 果を踏まえた整 備					文化財施設における適 正な防災設備の設置
	消防訓練実施体制の構築	文化財活用課		市費	各施設における 火災時のマニ ュアル作成	定期的な訓練の 実施				文化財施設における定 期的な訓練の実施
	防火・防災の啓発	文化財活用課		市費	文書による啓発・ HPやSNSによる 発信検討	+防災マニュアル の配布				文書による啓発で管理人と の意識の共有を行う・SNS 等を通じて市民に広く周知 する
	民間所有建造物の防火設備整備・保守点検への支援	文化財活用課		国費 県費 市費	文化財保存事業費 補助金による実 施・長期計画策定					歴史的建造物の適切な保存

重点施策「守る」

重点施 修理復旧										
3-① 修理復旧と公開の推進	行政		企業等							
	文化財の所有者等									
修理のための財源活用方法提案・支援	文化財活用課		市費	長期計画策定・実施体制構築	実施				→	歴史的建造物の適切な保存
修理技術者の情報収集・提供	文化財活用課		市費	長期計画策定・実施体制構築	実施				→	情報の適切な公開と蓄積
	博物館 (美術館・図書館)		市費	所蔵資料の修理・修復に際して修理技術者の情報を随時収集					→	
修理現場・成果の公開・情報発信	文化財活用課		国費 県費 市費	指定文化財建造物 修理現場等公開					→	情報周知対象の拡大
	埋蔵文化財センター		市費			保存処理施設の公開			→	
	博物館		市費	修理の成果の公開 (展示)方法の検討					→	

重点施策「活かす」

施策 内容	取組主体	関連主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標	
重点施策4 公開										
4-① 歴史文化のストーリーの発信強化	行政 地域コミュニティ 文化財関連団体 文化財の所有者等 企業等 大学等教育研究機関									
	情報発信の強化・情報発信技術の共有	文化財活用課 史跡整備活用課 地域観光推進課		国補 市費	ふく歴協議会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会での実施	
		埋蔵文化財課		市費 国補	調査成果の発信 増、包蔵地の周知 強化					
		埋蔵文化財センター		国補	HPリニューアル 3Dデータの作成・ 公開	3Dデータの作成・ 公開				
		博物館		市費	RNにあわせてHP 改修内容の検討					
		地域産業支援課		市費	はかた伝統工芸館 HPでの発信					
		図書館		市費	HP改修の検討					
	発掘調査現場の公開	埋蔵文化財課		市費	現地説明会の開催 増					現地説明会の開催年5回以上
		史跡整備活用課		市費	調査地点の公開					
	ブックレット・シリーズの刊行、販売、公民館・学校等への配布	博物館 市史編さん室		市費	ブックレットシ リーズの刊行					
4-② 福岡市博物館・美術館を中心とした文化財の公開										
文化財の公開	博物館	文化財関連団体 文化財の所有者等 地域コミュニティ	市費	企画展での地域文 化財公開、巡回展 示の検討 特別展の実施						
	埋蔵文化財センター		市費	館外展示の更新 バックヤードツ アー実施	館外展示の更新					
	埋蔵文化財課		市費	発掘速報展示の開 催					展示会の開催年2回以上	
	文化財活用課		国補	活性化実委での実 施					文化財観覧者数の増加	
福岡市博物館リニューアル事業、魅力的な公開方法の検討	博物館	-	市費	RN推進事業の実 施						

重点施策「活かす」

施策 内容	取組主体	関連主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標
4-③ 史跡等の公開の推進	行政	文化財関連団体 地域コミュニティ 行政							
魅力をわかりやすく伝える整備・公開	史跡整備活用課		市費 国補	史跡の公開・活用					
福岡城・鴻臚館 アジアのゲートウェイとしての魅力を体感できる整備・公開	史跡整備活用課		市費 国補 寄付金	福岡城建造物等整備・公開					
			市費 国補	鴻臚館整備・公開					
元寇防塁 本市固有の歴史の価値・魅力を活かした整備・公開	史跡整備活用課		市費 国補	公開・活用					
箱崎元寇防塁 新しいまちづくりと調和した整備・活用	史跡整備活用課		市費 国補	整備・活用					
博多遺跡群 国史跡指定、保存、公開・活用	埋蔵文化財課 史跡整備活用課		市費 国補	史跡指定 関係者と保存活用の検討					史跡を活かしたまちづくり
歴史的価値・地域の魅力の発信に効果的な公開手法の検討	文化財活用課 埋蔵文化財課		国補 市費	ふく歴協議会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会での実施	
文化財説明板の内容更新	埋蔵文化財課 文化財活用課		市費 国補	説明版の劣化状況確認	更新（1年に3枚程度）				説明板の改修と増設による遺跡の周知強化 10年サイクルで更新を行うよう整理を行う。

重点施策5 観光振興

施策 内容	取組主体	関連主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標
5-① 文化財の地域観光への活用推進	行政 文化財の所有者等 企業等	地域コミュニティ 文化財関連団体 文化財の所有者等 企業等							
文化財のストーリー化、環境整備、発信の多言語対応	文化財活用課 地域観光推進課 史跡整備活用課		国補 市費	ふく歴協議会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会での実施	
	埋蔵文化財センター		市費	イベント時資料貸し出し					
	博物館		市費	常設展示のRN内容を検討					
ユニークベニュー活用	史跡整備活用課		市費	福岡城建造物の活用					継続
	博物館		市費	RN推進事業に伴う受け入れ内容の検討					
	文化財活用課		市費	長期保全計画見直し 樹木環境整備					施設・史跡の安全管理と訪れやすい環境づくりを目指す
	文化財活用課 地域観光推進課		国補 市費	ふく歴協議会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会での実施	

重点施策「活かす」

施策	内容	取組主体	関連主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標
	地域観光推進のための橋渡し・調整 観光資源としての積極的な活用	文化財活用課 地域観光推進課		国補 市費	ふく歴協議会での 実施			翌年度以降の3か 年計画立案	ふく歴協議会での 実施	
	歴史文化を楽しく学べる体験プログラム等の工夫	博物館		市費	RNに伴う教育普及プログラムの検討					
埋蔵文化財センター			市費	バックヤードツアーの実施						
文化財活用課			国補 市費	ふく歴協議会での 実施				翌年度以降の3か 年計画立案	ふく歴協議会での 実施	
地域産業支援課			市費	はかた伝統工芸館 アウトリーチ活動 での実施						
	文化財関連施設における教育旅行の推進	博物館		市費	団体受け入れの ルール作りの検 討・実施 受け入れ環境の整備					
埋蔵文化財センター			市費	バックヤードツアーの実施						
史跡整備活用課			市費	鴻臚館・福岡城等 での修学旅行受け 入れ						
文化財活用課			国補 市費	ふく歴協議会での 実施				翌年度以降の3か 年計画立案	ふく歴協議会での 実施	周遊ルートの策定と誰でも 対応できるわかりやすいガイ ド資料作成
5-②	祭り・行事の継承支援	行政 文化財の所有者等 文化財関連団体	行政 企業等 地域コミュニティ							
	担い手が財源を確保できる仕組みの構築	まつり振興課	博多祇園山笠事業委員会 (博多祇園山笠振興 会、福岡コンベンションビ ュー、福岡市)	クラウド ファン ディング	R4実施実績:寄付164万円					警備・広報等については、 クラウド等、自主財源のみで 実施
(文化財活用課)			博多祇園山笠事業委員会 (博多祇園山笠振興 会、福岡コンベンションビ ュー、福岡市)	市費 各団体 負担金	飾り山笠PR動画 (R3制作)、昇き山動画 (R4制作) による広報活動の実施					閲覧増によるHP等協賛増
				市費	長期計画策定・実 施体制構築	実施				
5-③	MICEの受け入れ環境整備	行政 文化財の所有者等	行政 文化財関連団体							
	文化財関連施設ユニークベニュー受け入れ環境整備 利用のルール検討・整備	博物館		市費	RN推進事業に伴 う受け入れ内容の 検討					

重点施策「活かす」

施策 内容	取組主体	関連主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標
重点施策6 地域振興									
6-① 文化財の連携による地域の魅力の創出									
	行政 地域コミュニティ	文化財関連団体 文化財の所有者等 企業等							
地域の歴史文化の魅力を学べる体験プログラム	文化財活用課		国補 市費	ふく歴協議会・活性化実行委員会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会での実施	
	博物館		市費	RNに伴う教育普及プログラムの検討					
	埋蔵文化財センター		国補	公民館出前歴史講座の実施					
	史跡整備活用課		市費 参加費	鴻臚館古代衣装・古代食体験・WS					
	地域産業支援課		市費	はかた伝統工芸館アウトリーチ活動での実施					
回遊性を高めたエリアの充実	史跡整備活用課		市費	まち歩き検討等					
	文化財活用課 地域観光推進課		国補 市費	ふく歴協議会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会での実施	
6-② 地域に伝わる祭り・行事、伝統芸能、伝統工芸の継承・支援									
	行政 文化財の所有者等 文化財関連団体	企業等 地域コミュニティ							
祭り・行事等の公開・披露への支援	文化財活用課		国補	活性化実委での実施					文化財観覧者数の増加
伝統芸能、伝統工芸の継承支援	文化財活用課 (地域産業支援課)		国補	活性化実委での実施					
	地域産業支援課		市費	博多織DC、博多人形師育成塾等での後継者育成事業実施					

重点施策「活かす」

施策 内容	取組主体	関連主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標
重点施策7 学び・教育									
7-① 地域の文化財を活かした多様な学びの強化									
	行政	小中学校 行政 企業等 地域コミュニティ 文化財関連団体 大学等教育研究機関							
出前講座の統合・拡充	博物館 埋蔵文化財センター		市費 国補	統合・拡充に向けた検討・実施					
学校教育や地域コミュニティとの連携の強化	文化財活用課		国補 市費	ふく歴協議会・活性化実行委員会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会・活性化実行委員会での実施	
	埋蔵文化財センター (埋蔵文化財課)		国補	公民館出前歴史講座 館外展示・解説イベント					
	博物館		市費	RNに伴う地域共創事業の検討					
高齢者や障がい者への体験プログラムの知識や経験を共有・効果的なアプローチについて研究	博物館		市費	RNに伴う体験学習の検討					
	埋蔵文化財センター		市費	関連イベントへの資料貸し出し					
	文化財活用課		国補 市費	ふく歴協議会・活性化実行委員会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会・活性化実行委員会での実施	
7-② 歴史文化を通じた交流を促す環境づくり									
	行政 地域コミュニティ 文化財関連団体 文化財の所有者等 企業等 大学等教育研究機関	-							
ストーリーを重視した情報発信・内容の充実 情報発信の状況を把握・フォローの継続	文化財活用課		国補 市費	ふく歴協議会での実施			翌年度以降の3か年計画立案	ふく歴協議会での実施	
	埋蔵文化財センター		市費 国補	考古学講座の実施					
	博物館		市費	企画展での地域文化財公開、巡回展示の検討 特別展の実施					